

平成29年度病害虫発生予報第11号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	やや少	やや少
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	少	少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	並	並
	コナジラミ類	少	少
トマト	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類	やや多	やや多
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類 (注意報第10号継続)	多	多
たまねぎ	べと病	並	やや多
	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	少	少
ブロッコリー	黒腐病	やや多	やや多
	べと病	並	並

【発生予報】 本文の () 内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は1.1%(3.0%)、発生圃場率は18.2%(25.2%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は6.1%(5.0%)、発生圃場率は63.6%(56.3%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率1.1%、発生圃場率20.3%)。

4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(発生果率0.0%、発生圃場率0.0%)。

5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率1.0%)。

6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、寄生葉率は1.3%(1.5%)、発生圃場率は27.3%(14.8%)で、一部多発圃場が認められた。

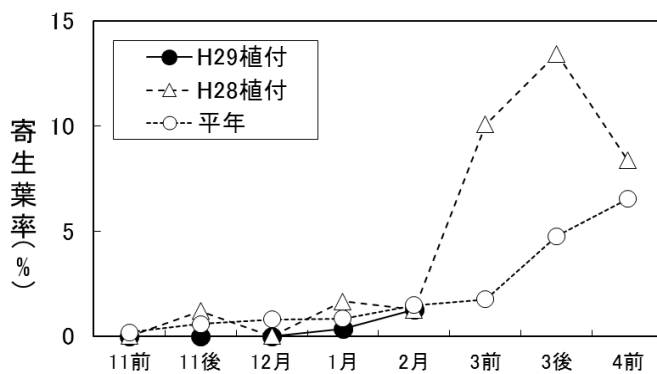


図 きゅうりのアザミウマ類 寄生葉率の推移

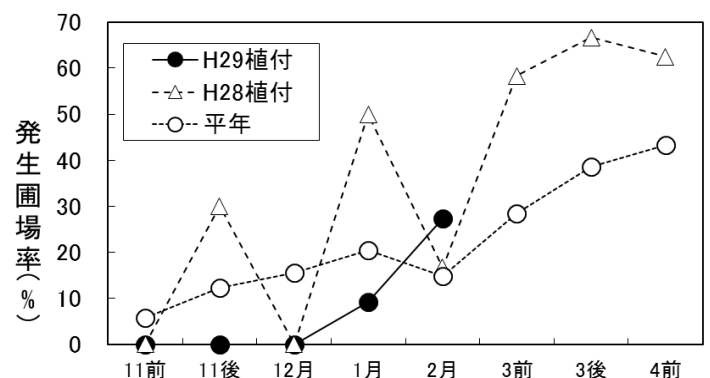


図 きゅうりのアザミウマ類 発生圃場率の推移

7. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率1.1%、発生圃場率20.0%)。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病株率は0.3%(0.3%)、発生圃場率は27.3%(22.7%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、果実では発生を認めず(0.0%)、葉での発病葉率は0.1%(過去5カ年平均0.5%)、発生圃場率は9.1%(同20.0%)であった。

3. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(11筆)の結果、寄生葉率は2.0%(過去7カ年平均0.5%)、発生圃場率は54.5%(同19.1%)であった。

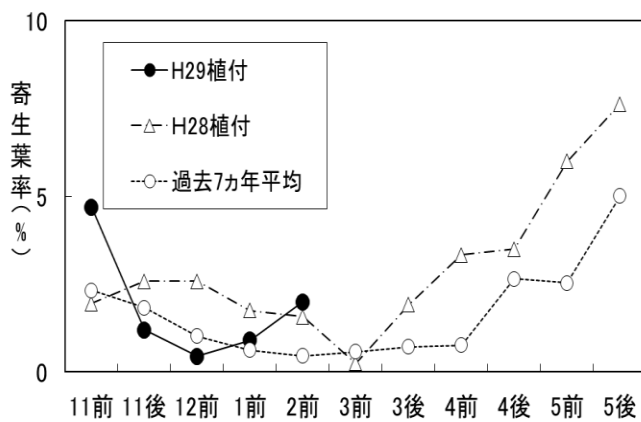


図 トマトのコナジラミ類 寄生葉率の推移

注) 平年はH22~28年の平均値

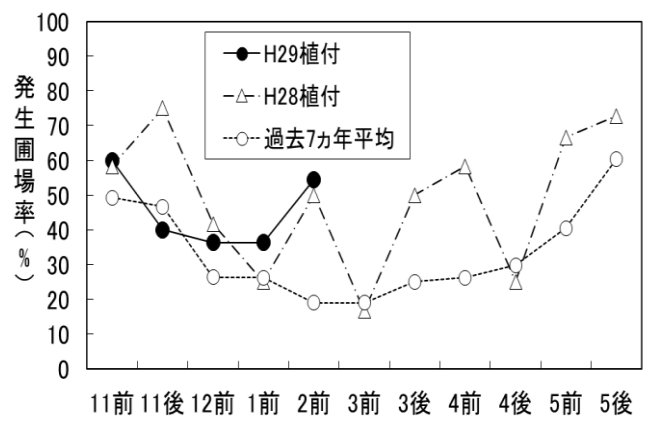


図 トマトのコナジラミ類 発生圃場率の推移

注) 平年はH22~28年の平均値

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 本虫は、TYLCV等のウイルスを媒介するので、黄色粘着板等で発生状況を把握し、初期防除に努める。
- イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。
- ウ マルハナバチの導入圃場では影響の少ない薬剤を使用する。
- エ 施設内の雑草は、本虫の増殖源となるので除草を徹底する。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(27筆)の結果、葉および果実での発生を認めなかった(発病株率0.1%、発病果率0.0%、発生圃場率1.9%)。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(27筆)の結果、発病果率0.03%(0.2%)、発生圃場率は18.5%(19.4%)であった。

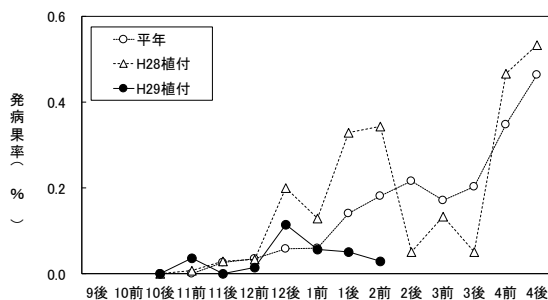


図 いちご 灰色かび病(果実) 発病果率の推移
平年: H19~H28の平均値(最大・小値除く)

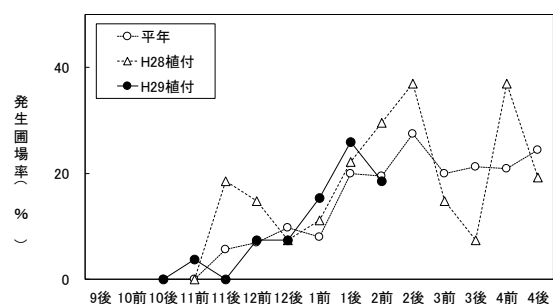


図 いちご 灰色かび病(果実) 発生圃場率の推移
平年: H19~H28の平均値(最大・小値除く)

(3) 防除上注意すべき事項

ア 夜間は暖房機を断続的に稼働し、曇雨天や気温が低い日もできるだけ換気を行うなど、ハウス内が多湿にならないような管理に努める。

イ 被害果等の発病部位は伝染源となるので、早期に取り除きハウス外へ持ち出して適正に処分する。

ウ 過繁茂は果実周囲が多湿になりやすく発病を助長するので、肥培管理を適切にする。

エ 果実では、本病原菌はまず枯死した花卉や雌しべの柱頭に寄生・増殖した後、果肉に侵入する。そのため、「さちのか」に比べ花卉が落ちにくい「ゆめのか」では、咲き終わった花卉は極力除去する。

オ 予防的な薬剤防除に努める。曇雨天が続く場合はハウス内湿度が上がるのを防ぐため、くん煙剤を利用する。

カ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.1%(0.5%)、発生圃場率は7.4%(9.7%)であった。

4. ハダニ類

平成30年2月5日付け**病害虫発生予察注意報第10号**を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

2月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は25.6%(4.3%)、発生圃場率は

は74.1%（38.9%）であった。

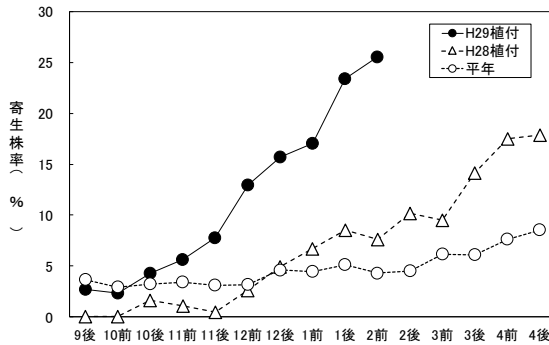


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移
 平年: H19~H28の平均値(最大・小値除く)

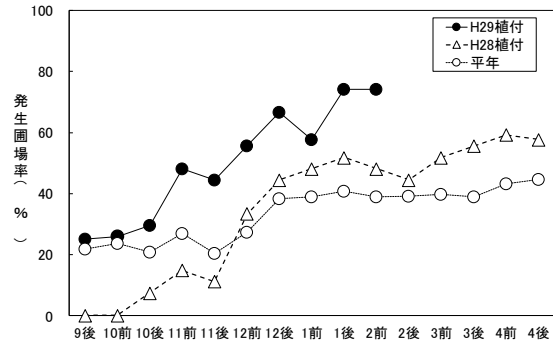


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移
 平年: H19~H28の平均値(最大・小値除く)

たまねぎ

1. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 2月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率2.5%)。

イ 1月15日に諫早市内の越年罹病株発生状況を調査(9筆、1筆当たり2000株調査)した結果、早生品種で越年罹病株を確認した(発生圃場率11%、発病株率0.05%)。

ウ 1月23日の同発生状況調査(12筆)では、発生圃場率50.0%、発病株率0.075%で、早生品種に加え、中生品種での発生を確認した。

エ 向こう1か月の降水量は平年並または多い見込みであり、本病の発生を助長する要因となる。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 越年罹病株は二次感染の伝染源として最も重要である。圃場の見回りをこまめに行い、発見したら早急に抜き取り圃場外に持ち出して適切に処分する。

イ 本病は、気象条件(気温15℃前後、多湿条件)によっては急激に発生が増加するため、気象予報等をこまめに確認し、防除をおこなう。

ウ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

2. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率5.0%)。

3. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は4.0%(13.4%)、発生圃場率は26.7%(62.4%)であった。

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査（12筆）の結果、発病株率は16.2%（0.4%）、発生圃場率は16.7%（6.4%）で、一部多発圃場が認められた。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤防除は予防的に実施し、初期感染を防ぐ。

イ 降雨や強風の後にはできるだけ速やかに薬剤防除を行う。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.1%、発生圃場率2.6%）。

【参考】

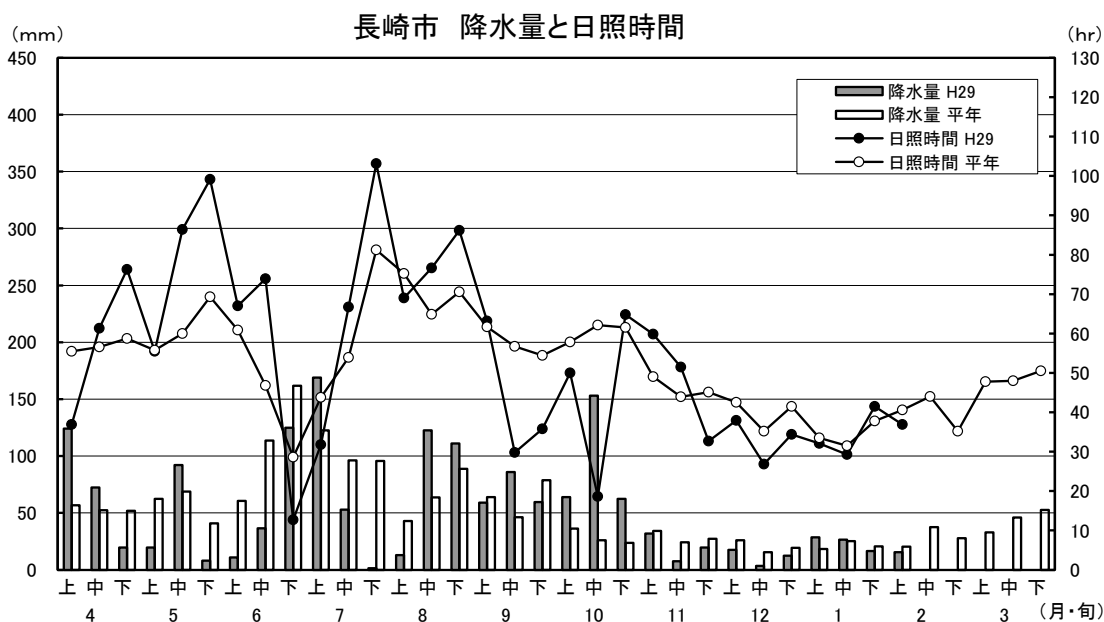
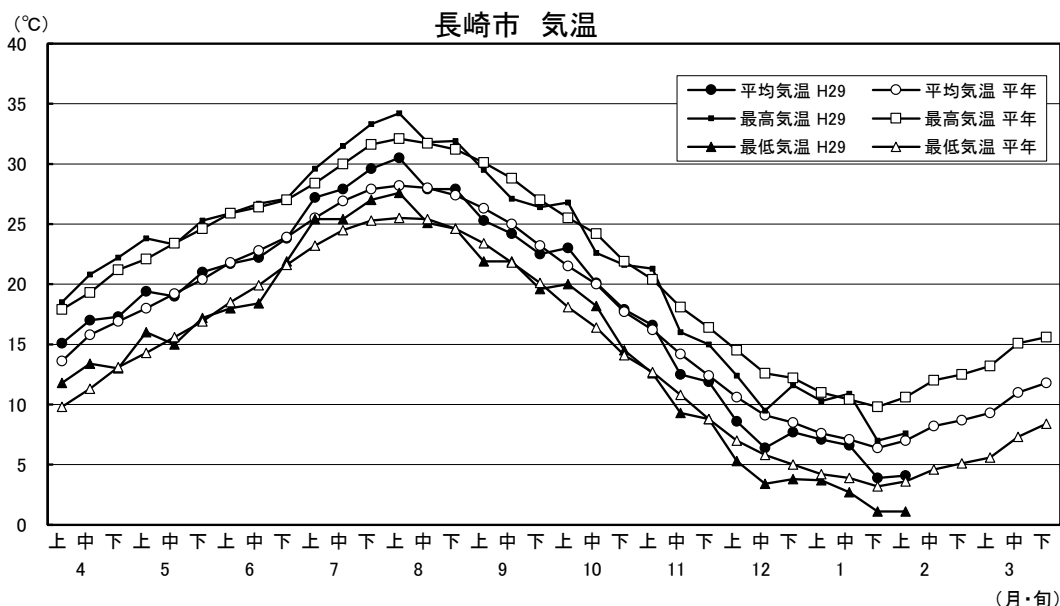
気象 (平成30年2月8日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	30	40	30
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

※予報対象地域：九州北部地域

平成29年度の気象経過 (長崎地方气象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpjn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

